

令和4年第4回市議会定例会

市長提案理由

(令和4年12月1日提案)

令和4年第4回市議会定例会の開会に当たり、市政諸般のご報告をいたしますとともに、ただいま上程されました諸議案についてご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症は、全国的に新規感染者数の増加のペースが速まっている状況ですが、観光庁の観光需要喚起策である全国旅行支援や外国人の新規入国制限の見直しなどが実施され、人の往来がかつての状況に戻りつつあります。別府市PCR検査センターでは、全国旅行支援の実施に当たり、市民の皆様も観光客の方も安心して旅行ができるように、市独自事業として、全国旅行支援の利用に限定して検査結果通知書を発行することといたしました。全国旅行支援により別府観光を底上げするとともに、全国の観光地でにぎわいが回復することを期待しております。

今年の秋は、「竹と月夜の調べ」や「別府湯けむり健康マラソン・ウォーク大会」など、コロナ前は毎年開催していた文化・スポーツイベントが戻ってきたことに加え、堂面棚田で行われた「湯のまち棚田マルシェ」などの初めての行事も開催されました。「ベップ・アート・マンス」を始めとした芸術イベントや「MARCHING CARNIVAL IN BEPPU」など、別府の秋の恒例行事も充実したイベントになってきています。3年ぶりに開催されました「別府ONSENアカデミア2022」では、腸内細菌検査を活用した温泉効果に関する実証実験結果が発表されました。これまでのシンポジウム等で培われたこれらの温泉効果に関するデータのストックや共有などを通して、データに基づく健康プログラムの開発を検討し、「免疫力日本一宣言」の実現に向け、チャレンジを続ける温泉地としてのブランディングに取り組んでいきます。

新湯治・ウェルネスツーリズム事業では、先月、環境省の専門家から、「温泉地の活性化に向けた環境省の取組～新・湯治の推進～」と題した講演をいただき、多くの議員の皆様や職員が受講しました。温泉地と自然、歴史・文化、食などの地域資源を組み合わせ、データに基づく科学的根拠なども取り入れながら、「医

療・美容・健康」をテーマに新しい価値や魅力を付加した観光スタイルを構築し、市民や観光客の心身の健康維持・増進を図るとともに、その経済効果が市内全域に波及するよう取り組んでまいります。

市民生活では、昨今、長期化する物価高騰の影響が市民生活を直撃していることから、子育て世帯の経済的な負担を軽減することを目的に、10月から幼稚園・小中学校の給食費を、2人目までは半額、3人目以降は無料としました。本施策は、将来的にも子育て世代の経済的負担を軽減し、子育て世帯の移住・定住にもつながるよう、競輪事業収入を活用して令和5年度以降も継続して実施いたします。

二重住所の解消に向けては、地区説明会での住民のご理解や住居表示審議会での答申を経て、来年度の実施に向け、事業を進めています。日常生活で使用している通称住所と住民基本台帳に記載されている大字住所との住所の不一致による不便を解消するため、住居表示の実施により住所を一本化し、デジタル時代に即した利便性の高い行政サービスの実現を図ります。

上人ヶ浜公園整備事業では、公募設置管理制度（Park-PFI）により公園北側の整備、管理運営を行う事業者の選定が行われました。本事業では、公園北側に位置する松林の豊かな景観を生かし、砂湯の充実を含め、温浴施設、カフェやショップ、宿泊コテージやアウトドア体験エリアなどが整備されます。公園南側の南国的な雰囲気や、海岸線に沿った遊歩道と合わせて、公園全体の利用者の増加、滞在時間の延長、にぎわいの創出を目指す計画で、市民の皆様にも観光で訪れた方にも楽しんでいただける公園に生まれ変わります。

次に、諸課題の解決に向けた組織体制についてご説明します。

こどもが自立した個人としてひとしく健やかに成長することができる社会の実現に向けて、こども家庭庁が令和5年4月に創設されることに伴い、令和5年4月1日に新たに「こども部」を創設し、子育て世代包括支援センターと子ども

家庭総合支援拠点双方の機能を有する「こども家庭センター」を設置します。子育て支援にはこれまでも重点的に予算配分を行ってまいりましたが、今後は国の動きに連動し、より一層強化して施策に取り組むため、組織体制を見直します。また、市民の複雑化・複合化した福祉ニーズに対応する包括的な体制づくりを進めていくため、国、県も進めている重層的支援体制の整備に向けて、市民福祉部に福祉の総合相談窓口を創設し、世代や属性を問わず包括的に相談を受ける体制を整え、行政サービスの対応力を高めます。

別府市立図書館は、今年6月に開館100周年を迎えました。図書館は市民の心を豊かに育み、知の欲求に応える場として、貴重な郷土資料などを多数保存しながら、市民とともに100年の歴史を歩んできました。これまでの歴史を継承し、次の100年に繋げる新図書館は令和7年度末にオープン予定で、先般、設計中のイメージを公開しました。外観は、自然光を取り入れて、建物外側からも中の活動が感じられ、既存樹木を最大限残した、別府公園の景観になじむデザインとなっています。施設内には、「気軽に立ち寄れる出会いと交流の場」「学びの場」「学びを实践する場」の3つの居場所を配し、蔵書数は32万冊を予定しています。今後も皆様から愛され、子どもたちに別府で生まれ育ったことを誇りに感じてもらえる図書館となるよう、進めてまいります。

令和6年4月1日に迎える市制施行100周年に向けては、現在、100周年を記念するロゴマークとキャッチフレーズを広く募集しています。12月23日まで公募し、来年2月に最優秀作品をお披露目する予定で、選定された最優秀作品は記念事業等の広報活動に活用されます。来年度のイベントに向け、市民総参加でお祝いするための機運を高めていきます。

市制100周年を迎える令和6年度には、JRグループと連携した日本最大級の観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーンが、令和6年4月から6月までの3か月間、福岡県・大分県の両県で実施されます。同年秋には、

例年、天皇・皇后両陛下がご出席になる皇室行事の一つである「第43回全国豊かな海づくり大会」が大分県内で開催され、海上歓迎・放流行事が別府港で行われることが決まりました。全国から訪れるお客様に別府の新たな魅力を存分に楽しんでいただく絶好の機会となるよう準備してまいります。

コロナ禍により私たち市民の日常生活や事業活動は大きな影響を受けましたが、コロナへの対応力が求められる「ウィズコロナ」での活動は、言葉だけではなく行動が伴ったものとして定着しつつあります。ウィズコロナの環境下においても、市民生活を維持し社会経済活動をバックアップできるように取り組んでまいります。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要をご説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、16億3,400万円の増額で、補正後の予算額は628億8,800万円となります。

その主なものとして、総務費では、新年度においても学校給食費の保護者負担を軽減するため、当該事業の財源として競輪事業収入を活用することに伴い、財政調整基金積立金の追加額を計上しています。また、湯のまち別府ふるさと応援寄附金の増加が見込まれることに伴う関係経費の追加額を計上しています。

民生費では、事業所や利用者の増加に伴う自立支援給付費及び障害児通所給付費の追加額を計上しています。

観光費では、別府の旅に付加価値を与え、観光客の満足度を高めることによりリピーターの獲得を図るため、宿泊者に対するキャンペーンを実施する経費を計上しています。

土木費では、楠銀天街にある所有者不存在の特定空家が老朽化により倒壊の恐れがあるため、空家対策特別措置法に基づき、略式代執行により家屋を解体する経費を計上しています。

災害復旧費では、9月に発生した台風14号により被災した農地農業用施設及び公共土木施設の復旧費を計上しています。

次に特別会計では、競輪事業において、売上金の増加が見込まれることに伴う関係経費の追加額を計上しています。今回の補正額は、70億630万円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は685億565万9千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に予算外の議案について、ご説明いたします。

予算外の議案については、「条例関係8件」、「その他7件」の計15件を提出しています。

議第91号「別府市役所事務分掌条例の一部改正について」は、こども家庭庁の創設等により、こども政策を所掌する部を設置することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第92号「別府市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について」、議第95号「別府市立学校職員の給与等に関する条例等の一部改正について」及び議第98号「別府市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について」は、地方公務員法の一部改正により、職員の定年引上げ、管理監督職勤務上限年齢制による降任等及び定年前再任用短時間勤務職員の任用並びに60歳を超える職員の給与に関する特例措置に関し必要な事項を定めること等に伴い、条例を改正等しようとするものです。

議第93号「特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について」は、特別職の常勤職員等に支給する期末手当の額を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第94号「別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について」は、国家公務員及び大分県職員の給与改定の事情を考慮して一般職の給与改定を行うため、条例を改正しようとするものです。

議第 96 号「別府市勤労者研修センターの設置及び管理に関する条例の廃止について」は、別府市勤労者研修センターを廃止することに伴い、条例を廃止しようとするものです。

議第 97 号「別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、別府海浜砂湯を廃止することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 99 号「動産の取得について」は、物価高騰の影響を受けている高齢者に配布する交通系 IC カードを買い入れることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 3 条の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第 100 号「議決事項の変更について」は、平成 30 年 12 月 14 日に議決を得ました別府市亀川地区市営住宅集約建替事業に係る事業契約の金額を変更しようとするものです。

議第 101 号「指定管理者の指定について」は、指定管理者に地獄蒸し工房鉄輪の管理を行わせることについて、地方自治法第 244 条の 2 第 6 項の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第 102 号「住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について」は、住居表示に関する法律第 3 条第 1 項の規定により議会の議決を経て、住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法を定めようとするものです。

議第 103 号「公有水面埋立てに関する意見について」は、公有水面の埋立てについて異議のない旨を大分県知事に答申するため、公有水面埋立法第 3 条第 4 項の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第 104 号及び議第 105 号は「市長専決処分について」です。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定に基づき、市長において専決処分しまし

たので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

専決処分に係る各議案につきましては、議第104号は、台風14号の影響により被害を受けた農地農業用施設、公共土木施設等を復旧することに伴い、令和4年度別府市一般会計補正予算（第8号）について、議第105号は、別府市美術館における事故の和解及び損害賠償の額の決定について、専決処分したものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。